

学校だより 風のいろ

平成22年度 第7号
平成22年5月20日 発行
横須賀市立汐入小学校

5月も半ばを過ぎ、校庭のメタセコイアが緑鮮やかな初夏の装いになってきました。皆様には、PTA総会(15日)へのご出席をありがとうございました。新役員・委員の方々を始め、皆様には今年一年間様々な場面でご協力をいただきますが、どうぞよろしくお願いいたします。旧役員・委員の皆様、本当にありがとうございました。

◎ごみを減らそう。資源として活用しよう。

★横須賀市環境部資源循環推進課より来校★4年社会科*17日(月)3校時 於 4年教室

横須賀市環境部から3名来校し、ごみについてお話をしてくださいました。「どうすればごみを減らせるのか?」「ごみの分別の仕方は?」など映像を見たり実際に仕分けをしたりして学習を深めました。古くなった傘を再利用したマイバックなども紹介していただきました。「家庭でごみ出しのお手伝いをしている。」という児童は、さすが分別の仕方をよく知っていました。「お母さんが、容器入りではなく詰め替え用の物を買っている。」と話す子もいました。ごみの分量を減らし限りある資源を生かすためにも、買い物の仕方工夫やごみの分別、資源回収など、それぞれの家庭でできることから取り組んでいくことが大切ですね。

*日頃から子どもたちにお手伝いをさせると、様々な生活の知恵が身に付きますね。



◎認知症について正しく理解しよう。誰にでも優しく親切にしよう。

★4, 5, 6年総合的な学習(福祉)*19日(水)3校時 於オープンスペース

★小学生認知症サポーター養成講座:横須賀市健康福祉部長寿社会課より来校

認知症についての小学生向けの講座としては、汐入小学校での実施が市内初ということでした。

「認知症という病気について、正しい知識や対処法を子どもの頃から身につけることは、生きることについて考え誰にでも優しく親切にすることの意義を学ぶ貴重な機会である」との主旨で、今年度から市内小中学校へも出前授業を行うとのこと。小学生向けに紙芝居や人形劇などを用いてわかりやすく話していただき、終了後、認知症サポーターの証として、一人一人にオレンジリングをいただきました。

「認知症という言葉は知っていたけれど、どういう病気なのか初めて分かりました。」「認知症の人に出会ったら優しくしたいと思います。」と感想を話してくれた子もいました。認知症の人に限らず、困っている人の気持ちに寄り添い優しく接することができる子になってほしいと思います。市の担当の方からは、「今日学んだことをお家の人に伝えてください。それも認知症サポーターとしての立派な仕事のひとつです。」というお話がありました。どうぞ子どもたちに今日の感想を聞いてみてください。

人形劇では本校教諭がお母さん役と子ども役を務めました。

健康福祉部の皆さん

